



令和4年度

施政方針

2月28日、第1回市議会定例会で、石川市長は令和4年度施政方針および予算提案説明を行いました。「施政方針」とは、令和4年度の市政運営に向けての基本的な考え方と主な施策を示すものです。

今月は、この施政方針の一部と新年度予算の概要を紹介します。

昨年を振り返り、次の年度へ

01 まちづくり最上位計画がスタート

昨年は新型コロナウイルス感染症が地球規模で社会生活や経済活動に大きな混乱をもたらした一年でした。

本市では、まちづくりの最上位計画である第六次新居浜市長期総合計画がスタート。目指す将来都市像として掲げる「―豊かな心で幸せつむぐ―人が輝く、あかがねのまち いはま」の実現に向け、長年の懸案である「総合運動公園」や「市民文化センター」の整備など、各種施策を着実に推進し、市民の誰もが心の豊かさや幸せを実感し、光り輝き活躍できるまちを目指します。

02 県1位、四国4位に！

東洋経済新報社が昨年発表した「2021住みよさランキング」において、本市が愛媛県1位、四国4位にランキングしました。大変うれしい評価を頂き、これまでの「地方創生への取り組み」が着実に実を結びつつあるという手ごたえを大きく感じています。

03 新しい新居浜の芽吹きのに

令和4年度を新型コロナウイルスと時代の変革期の重要な1年と位置付け、「新型コロナウイルス

感染症対応」に万全を期すとともに、新時代の課題に的確に対応するため組織機構の見直しを行います。新たに「こども局」、「環境エネルギー局」および「文化スポーツ局」を設置し、子ども・子育て支援の充実、環境エネルギー政策の強化および文化・スポーツの振興に重点を置いた施策を展開し、新しい新居浜の芽吹き之年となるよう全力で取り組みます。



01 第六次新居浜市長期総合計画



これから目指す本市の将来像と、それを実現するための方針を示す、10年間の計画です。概要版の冊子は漫画で読みやすくしています。



詳細はこちら▶

02 2021住みよさランキング



「都市データパック」に掲載。安心度・利便度・快適度・富裕度の4つの視点からなる20指標を数値化し、順位付けを行っています。



詳細はこちら▶

03 組織機構の見直し



新設する3つの局のほか、企画部には新たに「政策研究班」を設置。さまざまなデータや統計を活用し、新たな施策を研究・立案していきます。

※庁舎内のレイアウトや課所室名の変更については、P12をご覧ください。

令和4年度はこんな「まちづくり」を進めます

第六次新居浜市長期総合計画に掲げる6つのまちづくりの目標ごとに、今年度実施する重点事業を紹介します。ここでは施政方針から内容を抜粋して掲載しています。詳細は、市ホームページをご覧ください。

施政方針
全文はこちら



子育て・教育

01 未来を創り出す子どもが育つまちづくり

- ▼第2子以降の出生時に紙おむつを購入できる「愛顔^{えが}っ子応援券」、第1子出生時にベビー用品を購入できる「はまっこすたあと応援券」の交付継続
- ▼学校のトイレ洋式化やLED化などの施設改修や環境整備
- ▼（仮称）新居浜市西部学校給食センター供用開始へ向けた整備



愛顔っ子応援券
(5万円分の紙おむつ購入可能)



はまっこすたあと応援券
(3万円分のベビー用品購入可能)



休日・夜間急患センター



旧端出場水力発電所



マイントピア別子



滝の宮公園の大型複合遊具



東田団地1号棟 (新築)

健康・福祉

02 健康で、いきいきと暮らし、支えあうまちづくり

- ▼新休日・夜間急患センターの早期開設に向けた実施設計
- ▼「ねんりんピック愛顔のえひめ2023」の令和5年開催に向け、プレ大会を開催
- ▼国民健康保険事業の適正な保険料率への見直し、保険料の収納率向上対策、医療費の適正化

経済・雇用

03 活力とにぎわいにみち、魅力ある職場が生まれ出されるまちづくり

- ▼サテライトオフィスなどを含めた多様な企業誘致
- ▼市制施行85周年を祝う新居浜太鼓祭りとして安心して開催できるよう支援
- ▼マイントピア別子と旧端出場水力発電所（一般公開予定）との一体的な利活用を推進

都市基盤・防災・防犯・消防

04 安全・安心・快適を実感できるまちづくり

- ▼滝の宮公園の整備継続
- ▼「上部東西線」「宇高西筋線」事業推進のための用地買収など、早期開通に向けた取り組み
- ▼令和6年度の完成に向けた東田団地2号棟の事業着手
- ▼北消防署に高規格救急自動車を更新整備

05 人と地域の力で豊かな心を育み、つながり、学び合うまちづくり

- ▼市民文化センターの建て替え、整備に向けた基本構想、計画策定
- ▼市制85周年記念事業として、鴻上尚史（ふるさと観光大使）主宰の「虚構の劇団」による公演をかがねミュージアムで開催
- ▼五味太郎（絵本作家）の作品展を市制85周年特別企画展として美術館で開催
- ▼総合運動公園の基本計画策定
- ▼愛知県大府市との都市間交流の一環としてジュニアバドミントン交流大会を本市で開催



市民文化センター

06 人と自然が調和した快適に生活できるまちづくり

- ▼新設「カーボンニュートラル推進室」で公共施設での効果的な再生可能エネルギーの導入を進めるための調査、計画策定に向けた取り組み
- ▼家庭系直接搬入ごみと大型ごみ戸別収集の有料化と事業系ごみの手数料改定
- ▼し尿および浄化槽汚泥を下水処理場での共同処理事業に完全移行
- ▼上下水道事業経営について、安定的な経営基盤の強化に向けた料金改定



浄化槽汚泥等受入施設

計画の推進 持続可能なまちづくりの推進

- ▼大都市圏などで各種メディアの利点を生かしたシティープロモーションの実施
- ▼市観光物産協会と連携し、特色ある返礼品を開拓、インターネットなどを活用して全国に情報発信することで、ふるさと納税の安定的な確保を目指す
- ▼マイナンバーカードを活用した各種申請のオンライン化、デジタル化の推進



ふるさと納税返礼品の一つ
大島産「七福芋（白いも）」



施政方針の最後に――

古代中国で大切にされてきたものの考え方に「承前啓後」があります。この言葉は、「学問や事業など昔からのものを受け継いで、未来を切り開くこと」という意味です。

今日まで本市発展の礎を築いた先人の偉業や、脈々と受け継がれてきた伝統や文化を再認識し、十年先、百年先の本市の未来・あるべき姿を見据えて、少子高齢化・人口減少対策など地方創生の取り組みを更に深化させていきます。

また、今年の干支は「壬寅^{みずのえとら}」です。厳しい冬を越えて芽吹き始め、新しい成長の礎となる年と言われています。さらに、寅には「決断力と才知」の象徴としての意味もあります。

私の第3ステージの公約である7つの夢の実現と市の未来に向けた芽吹きとなるよう「誠実、決断、実行」を肝に銘じ、各種施策に全力で取り組みます。市民の誰もが幸せを実感できる「笑顔輝く新居浜市」の実現を目指して「チーム新居浜」の才知を結集し取り組んでいきます。

新居浜市長 石川勝行